

私たち人間は生まれながらにして自由・平等であり、だれか  
らも奪われることのない様々な人権を等しくもっています。私  
たち一人一人が人権について正しく理解し、人権を尊重する具  
体的な行動をすることは、誰もが自分らしく生活できるクラス  
をつくることにつながります。

じんけん 人権?  
? ぐ たいてき 具体的な  
ごうどう 行動?

まず知ることから始めよう!  
はじ  
じんけんよいく がくしゅう しりょうゆう  
人権教育学習資料集「なか  
まとともに」には、人権につ  
まな  
いて学ぶことのできる様々な  
きょうざい けいさい  
教材が掲載されています。

11

なかまとともに  
高等学校  
奈良県教育委員会

こんな自分が好きやねん  
~自尊感情~

19. 大人の階段  
~高校生、きみもへ~

自尊感情

権利と責任

5. だれにとっても  
暮らしそうい社会に

10. 自分  
らしく生きる

11. ネットを語ろう

障害のある人の人権

性的マイノリティの人権

インターネット上の人権

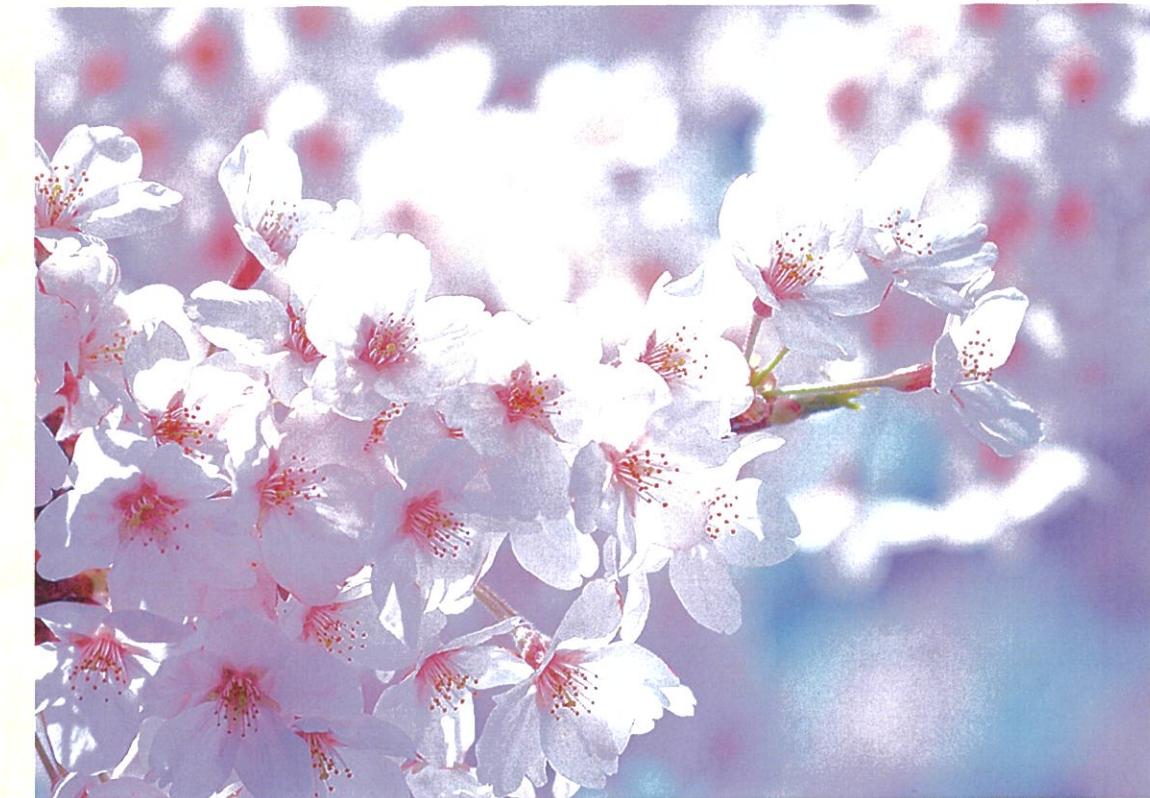
クラスのなかまとともに、「なかまとともに」  
よを読んでみよう!

11



# 新たなるステージ

～なかまとともに～



平成29(2017)年  
奈良県教育委員会

# わたしは…

なまえ  
名前は、

です。

たんじょうび  
誕生日は、

がつ  
月  
にち  
日です。

いま  
今、むちゅう  
夢中になっていることは、

です。

にがて  
苦手なもの・ことは、

です。

わたしは、

とき、しあわ  
幸せです。

わたしは、これから

したいです。

わたしは、

です。

※自分について知ってもらいたいことがあれば  
書きましょう。



あら  
新たなるステージの  
第一歩を踏み出した  
今の自分を見つめて  
みましょう。



てんいち先生

すきな食べ物は、

です。

得意なことは、

です。

ゆめ  
夢は、

です。

たいせつ  
大切にしているもの・ことは、

です。

わたしは、

どうしても思い浮  
かばないところは、  
あ  
空けておいても  
だいじょうぶ  
大丈夫だよ。

ひかりちゃん

# あなたは…

ペアになって、  
じこしょうかい  
自己紹介しましょう。



- うなずきながらきこう。
- 聞いたことは勝手に他人に言わないでね。
- 言いたくないことは言わなくてもOKだよ。



じぶん  
自分のことをしっかりと聞いてもらえた今の気持ちを書きましょう。

じぶん  
自分のペアからき  
ことを他のペアに紹介  
するというのもやって  
みてはどうかな。

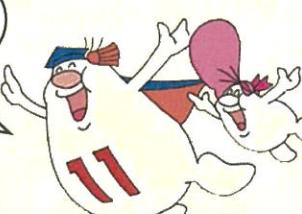


じぶん  
自分のことをしっかり  
紹介してもらうと、  
どんな気持ちになるの  
かなあ。

# 新たなるステージを よりよいものにするために…

はじ  
これから始まる新しい学校生活。  
あなたにとってこのクラスは、どのようなものであってほしいですか。  
あなたが考えるクラスのイメージを書いてみましょう。

だれ  
誰もが自分らしく  
しあわ  
幸せに暮らせる学校生活を  
みんなで創っていきましょう！



わたしたちも  
がんばります。

てんいち先生とひかりちゃんは、「奈良県市町村人  
権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会（啓発連  
協）」のオリジナル人権キャラクターです。

◆人権教育の推進に向けて◆

(1) 人権とは

人権とは、「人が生まれながらに持っている必要不可欠な様々な権利」を意味します。

人権の内容には、人が生存するために不可欠な生命や身体の自由の保障、法の下の平等、衣食住の充足などに関わる諸権利が含まれています。また、人が幸せに生きる上で必要不可欠な思想や言論の自由、集会・結社の自由、教育を受ける権利、働く権利なども含まれています。

このような一つ一つの権利は、それぞれが固有の意義をもつと同時に、相互に不可分かつ相補的なものとして連なり合っています。このような諸権利がまとまった全一体を人権と呼びます。

(2) 人権教育とは

人権教育は、自他の人権の実現と擁護のために必要な資質や能力を育成し、発展させることを目指す総合的な教育活動です。

「人権の実現」とは、一人一人が自分らしく生きていく社会をつくり出すとともに、社会をよりよく向上させていくとする積極的な面を表しています。「人権の擁護」とは、人権が守られた状態を保持するとともに、人権が侵害されているときはそれを回復することです。「総合的な教育活動」とは、全ての教育活動の基盤に人権教育の理念をしっかりと根付かせ、教育活動（学校教育、社会教育）全体を通して取組を進めなければならないということを意味しています。

◆人権教育学習資料集「なかまとともに」について◆



人権教育学習資料集「なかまとともに」は、児童生徒用教材集及び指導資料集、DVD教材で構成されており、自尊感情の醸成と集団づくりのための教材、人権一般の「普遍的な視点からのアプローチ」と具体的な人権課題に即した「個別的な視点からのアプローチ」の双方向からバランスよく学ぶことができるための教材を、生徒の発達段階を考慮して配列しています。また、人権教育を通じて育てたい資質や能力（知識的側面、価値的・態度的側面、技能的側面）を育成する教材を系統的に配列しています。

各学校において、「なかまとともに」を活用していただき、人権教育をさらに推進していくことを期待します。

※ 「人権」や「人権を尊重する具体的な行動」についての学習には、人権教育学習資料集「なかまとともに」等を活用してください。

◇奈良県教育委員会事務局 人権・地域教育課 人権教育係 <http://www.pref.nara.jp/3326.htm>  
◇奈良県先生応援サイト <http://www.e-net.nara.jp/ouen/>

※上記のページには、人権教育に関する様々な資料等を掲載しています。



～なかまとともに～

## ガイダンスペーパー



今年も新しい生徒たちが、各学校に入学しました。

今、生徒たちはどんな思いを抱いているのでしょうか。

すべての生徒が、1日も早く、安全で安心できる環境の中で、落ち着いた学校生活を送れるようにとの願いを込めて、人権学習資料「新たなるステージ～なかまとともに～」を作成しました。このガイダンスペーパーは、本資料をオリエンテーションやホームルーム等で活用いただく際の参考となるよう、その「主題」「主題・資料について」「ねらい」「展開例」等を掲載しています。

なお、人権学習資料「新たなるステージ～なかまとともに～」及び「ガイダンスペーパー」は、人権・地域教育課人権教育係のホームページよりダウンロードできます。

◆人権学習資料「新たなるステージ～なかまとともに～」の活用に当たって◆

☆主題 自尊感情の醸成、集団づくり

☆主題・資料について

自尊感情は、自分の大切さに気づき、自分を価値ある存在として尊重し認める気持ちです。「他者を大切にできる」ためには、まず、「自身を大切な存在として受け止める」ことが必要です。しかし、現実には、自分を肯定的に捉えることができず、他者の存在を受け容れることができない生徒も少なくありません。そうした状況を見たとき、自尊感情を育む取組は大変重要であると言えます。

自尊感情は、人ととの関わりの中で育まれていくものです。他者に受け容れられることで、自尊感情は高まり、自尊感情が高まることで、他者を受け容れることができるようになります。その点からすると、自尊感情の醸成は集団づくりと表裏一体のものとして捉えることができます。

集団づくりとは、一人一人違った個性をもち、様々な生活を背負い、別々の場所で暮らしてきた生徒たちを丁寧につなぐこと、互いに支え合う人間関係をつくり出すことです。その取組は生徒たちの意欲を育み、未来を切り拓くパワーの源になります。

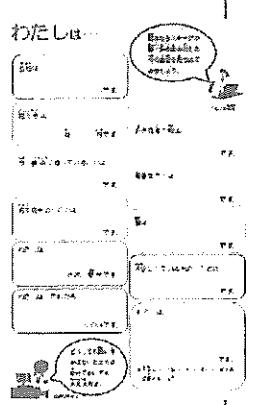
集団づくりを進めるには、生徒たちが関わり合う場面を創出し、活動を通して互いを知ることが求められます。その中で、多様な価値観があることに気づき、受容する態度が培われます。

本資料は、生徒と教職員が自尊感情の醸成と集団づくりについて、体験活動を通して共に考える場を想定しています。

☆ねらい

- ・自分自身を見つめ、ありのままの自分を言葉で表現する。
- ・互いに受け止め合い、自他共に大切にしようとする態度を身に付ける。
- ・誰もが安心して過ごすことのできるクラス集団づくりに向け、意欲を高める。

☆展開例

	主な学習活動	指導上の留意点	活用するシート
導入	・入学して間もない今の気持ち（希望、期待、不安など）を振り返る。	・発言を求めてよい。発言がなかった場合、なぜ発言できなかつたのかという問い合わせで振り返らせるこども有効である。 ・今の気持ちを踏まえ、この時間はみんなでよりよい学校生活が送れるよう、活動することを伝える。	
展開	今のがんばり（ありのままの自分）を見つめてみよう。	・ワークシートに沿って、自分について振り返り記入する。（5分間）  ・安心して活動できる雰囲気をつくり、意欲的に記入するよう促したい。 ・特に思い浮かばない項目は空欄のままでよいこと、他者に知られたくないことは書かなくてもよいこと等を伝える。 ・指導者が自身の例を示すことも有効である。 ・最後の枠には、シートに書かれた項目以外でクラスのなかまに知つてもらいたいことがあれば書くことを伝える。 ・記入時間を5分程度として示す。	

ペアになって自己紹介をしよう。

- ・自己紹介したい項目を一つ選び、話す内容を考える。
- ・「3つの約束」を確認する。
- ・ペアになり、まず一人が自己紹介をする。（1分間）
- ・聴いた人がその内容について感想を述べたり質問をしたりする。（1分間）
- ・立場を交代して同じことを行う。
- ※2つのペアを合わせ、他のペアに自分のペアから聴いたことをもとに他己紹介したり、ペアを少人数のグループにして自己紹介したりするなど、クラスの実態に応じてアレンジすることが考えられる。
- ・1分間で紹介すること、その間、聴く側は質問等をせず、ひたすら聴くことに徹することを伝える。
- ・時間を計り、終わりの合図をする。
- ・ありのままの自分を表現し受け止められた時の心地よさや安心感を味わわせたい。

これから始まる学校生活やクラスについて考えよう。

- ・これまでの活動をふり返りつつ、これから始まる学校生活がどのようなものであってほしいかを考える。
- ・先に考えたことも含め、自分たちのクラスがこうでありたいというイメージをワークシートに記入する。
- ・記入したことを発表し、クラス全員で共有する。
- ・板書等により視覚化して共有することはより効果的である。
- ※時間に余裕がないときは、ワークシートを回収し、プリントに整理して共有することも考えられる。その際は、そうした活用をすることを伝え、差し障りのある場合は、後で申し出もらうなどの配慮をしなければならない。

- 活動をふり返ろう。
- ・ワークシート掲載文（右下参照）を読み、本日の学習活動をふり返る。
  - ・誰もが自分らしく生活できるクラスづくりについて考えさせる。
  - ・互いをありのままに受け止め、大切にする関係を築こうとする意欲につなげたい。

うなづきながら聽こう。  
聞いたことは手元に記していく。  
言いたくないことは言わなくてOKだよ。



新たなステージ～よりよいものにするために～  
～よりよい学校～よりよいクラス～よりよい社会～



展開例については、各学校、学級の実態に即し、適宜アレンジしてご活用ください。

私たち人間は生まれながらにして自由・平等であり、だれからも奪われることのない様々な人権を等しくもっています。私たち一人一人が人権について正しく理解し、人権を尊重する具体的な行動をすることは、誰もが自分らしく生活できるクラスをつくることにつながります。

【お詫びと訂正】  
人権学習資料「新たなるステージ～なかまとともに～」中、上記の部分に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、活用の際にはご訂正くださいますようお願いします。  
(誤) 自分しく → (正) 自分らしく